

インドネシアで水道洗浄

中里建設 来年から案件化調査

か海外諸国でも需要があるとみている。案件化調査では洗浄の実証実験などを通じて、効果や現地での実用化に向けた課題を分析する。

建設業の中里建設（栃木県佐野市）は2019年1月から、特殊な発泡ウレタンの球体「アクアピグ」による水道管洗浄事業をインドネシアで手がけるための調査に乗り出す。このほど国際協力機構（JICA）が中小企業の海外展開を巡り調査費などを支援する「案件化調査」に採択。1年間の調査を経て、将来の事業展開を目指す。

タンノの球体に特殊コーティングを施したもの。水道管を通過させることで中の汚れを落とす。似た「パイプ」があるが、アクアピグは柔軟性と復元性のバランスに優れているとい

う。洗浄力が長く長い距離の洗浄が可能で「管の内部を傷つけることもない」（中里聡社長）。日本国内では17年度末までに36件の施工実績がある。インドネシアのほ

中里建設は土木工事を主な事業とする。近年は既存施設のメンテナンスを収益源とするため、水道管の洗浄などを手がける水関連事業にも力を入れている。

アクアピグは発泡ウレ